



作家
元国際線乗務員
黒木安馬

【プロフィール】高校時に米国留学後、早稲田大学を経てJAL国際線客室乗務員として30年勤務。世界初の「カラオケ・フライト」や「1万メートル上空・北島三郎機上コンサート」などを実現させる。千葉の自宅は1300坪の山林を開墾してプール、テニスコート、コンサートホール等を手作りする。現在、(株)日本成功学会社長として自己啓発や社員教育で講演中。著書に「ファーストクラスの心配り」、「あなたの人格以上は売れない!」(プレジデント社)、「成「幸」学」(講談社)、「出過ぎる杭は打ちにくい!」(サンマーク出版)、「面白くなくちゃ人生じゃない!」(ロングセラーズ)、「小説・球磨川」(上下巻・ワニブックス)などがある。
E-mail:yasuma@myad.jp URL:http://www.7b.biglobe.ne.jp/~sanpercent-club/

21世紀だ! ————— 人生・農業リセット再出発 224

黄金比・Golden Ratio

脳は、大人平均で146億個の細胞、重さ1.4kg、人体細胞60兆個の0.数%だが、エネルギーの25%を消費するほど活発だ。その燃料はタンパク質でも脂質でもなく、ご飯などの炭水化物から作り出すブドウ糖でしかない。脳力が低下すると内臓器官停止など生命を脅かすので、水を飲んでも太るほど何でも吸収しようとスイッチが入る。どれだけ食べても太らない食事法には“黄金比率”がある。タンパク質2割・脂質2割・炭水化物の糖質6割だ。

人間は左脳と右脳に分かれていて、左脳は有意識の理性や道徳、言語、計算など理屈の決まりごとを作動させる。右脳は嘘のつけない本能や欲望、感情や直感、イメージや図形把握を一瞬で司る無意識の潜在意識で、左脳の数百万倍の処理能力がある。なぜか機能は交差していて、左半分の身体器官は右脳が、右半分は左脳が受け持っている。左脳が脳梗塞になると言語障害や右手足が不自由になる。イメージを直感でとらえる視覚は右脳、主に左目で捕捉するから、とっさの脱走は視界の開けた左へ逃げる傾向があり、トラック競技も左回りで走る。スケートの金メダリストに聞いたら、右回りはできないそうだ。

建築や彫刻、絵画には、最も安定し美しい比率とされる“黄金比”がある。エジプトのピラミッド、完璧なバランス美の建造物であるギリシャのパルテノン神殿の正面全貌はまさに黄金比、近似値の「1:1.618」、約5:8で構成されている。古代ギリシャのミロのビーナスは足からヘソ、ヘソから頭までの比率が、レオナルド・ダ・ヴィンチのモナリザの顔の面積比、パリの凱旋門やバルセロナのサグラダ・ファミリア大聖堂も、ひいてはクレジットカードや名刺もそうなのである。そのつもりで観れば、APPLEやGOOGLE、PEPSIのロゴも黄金比の構成だとわかる。植物の葉の並

び方や巻貝など自然界の美は黄金比の繰り返し模様でできている。

芸術にさほど詳しくない人たちを対象に、黄金比に従って造られた彫刻と、見た目はほとんど同じだが微妙に黄金比から外れるように作り変えられた作品を観てもらった実験をした。結果は黄金比が圧勝した。自然界の動植物はこのバランスで生きている。WEBサイトのデザインなども一瞬で目を留ませる手法として取り入れる必要性は大なのだ。スマホでレストランなどを検索すると、上位の3店舗程度しか表記されない。スクロールすればページは変わるが、入店率は上位3店舗が圧倒的に高い。とすれば、いかに目を留ませるかがポイントとなる。

日本では世界最古の木造建築物である法隆寺の金堂や五重塔の屋根、最上部の屋根と下層屋根の比率などに古くから使われている「白銀比・大和比」比率がある。ルート2は、 $\sqrt{2} \approx 1.41421356 =$ “一夜一夜に人見頃”と記憶したもののだが、 $1:\sqrt{2}$ は、1:1.414(約5対7)が日本美の極致とされる。コピー用紙のA版やB版サイズ、大学ノート、書籍やポスター、新聞見開き、そして仏像の顔、日本画や美人画などほとんどが“1:1.4”の日本独自の構成比となっていて、欧米のサイズ基準と違うことは知られていない。東京スカイツリーは武蔵野をもじった634mに対して、第2展望台までの高さが448mで見事に1:1.41なのだ。日本人が最も好む四角形の比率は、1位が白銀比の1:1.4で、2位は風呂敷などの1:1の正方形、3位が1:1.6の黄金比と調査結果がある。意外や日本美の基礎は、欧米諸国から賞賛されるに値する独自の文化なのである。

右脳の直観に訴える黄金比と白銀比、特に大和比を国際化の何に活用できるかを考えてみると面白い。